

# 省エネ時代にやるべき課題

横浜市会議員 伏見ゆきえ

環境省の委託事業として、電気で走るEVバス「熊本大学をはじめとした産官学連合が開発が10月28日から横浜市内を走り始めました。その前日には市役所で「EVバス実証事業車両披露セレソス証事業車両披露セラ

「モニター」が開かれ、私も出席しました。菅義偉首相が臨時国会で行った所信表明演説で「2050年までに温室効果ガスの排出量を事実上ゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すこ

とを宣言する」と表明しました。このことが国連からも高く評価されたことは、記憶に新しいことかと思えます。

## いま、必要なこと

EVバスなどの再生エネルギーは、大都市ヨコハマにおいて、確実に「いま」取り組む必要がある大きな課題だと思

います。企業や個々の住宅に蓄電池を設置する取り組みも、再生可能エネルギーを通してモデルケースの構築とあわせて、少

しでも省エネが図る暮らしを進めていきたいと考えます。

## 戸塚資源選別

センターへ視察

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、家庭からの資源ごみ排出が大幅に増加したことから、資源選別施設の緊急機器改良工事が実施されまし

た。職員がほぼ手作業で処理するため、日曜日も稼働する忙しさですが、機器の改修で年末までに改善される予定です。



## 伏見ゆきえ

1968年川崎生まれ横浜育ち。私立橘女子高卒業後、歯科医院、ヤクルトレディーなどを経て2015年に横浜市会議員切当選。現在2期目。

連絡事務所 / 〒244-0816 戸塚区上倉田町390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / ☎045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

現場におもむき、職員の方々の大変さを目の当たりにしたことで、また一つ大切なことを学ばせて頂きました。